

目標2 飢餓をゼロに 2022.7

展示している本の一部を紹介します

1つぶのおこめーさんすうのむかしばなしー デミノ作 さくまゆみこノ訳 光村教育図書
王さまは、飢饉のときにみんなにわけあたえようといって、とれたおこめのほとんどをめしあげてしまいました。

もったいないばあさん(講談社の創作絵本) 真珠まりこノ作・絵 講談社
もったいないから飢餓について考えてみませんか？

世界の半分が飢えるのはなぜ？ージグレル教授がわが子に語る飢餓の真実ー
ジャン・ジグレルノ著 たかおまゆみノ訳 勝俣誠ノ監訳 合同出版
飢餓がなくなるに複雑な構造をわかりやすく解説しています。

ホントに食べる？世界をすくう虫のすべて 内山昭一ノ監修 文研出版
少しのエサで成長し、食べられる部分も多くて、温室効果ガスの排出も少ない昆虫。「地球をすくう食材」になるといわれています。

ウルド昆虫記バツタを倒しにアフリカへ 前野ウルド浩太郎ノ著 光文社
大発生したバツタが農作物を喰い荒らし、深刻な飢饉を引き起こす…。世界を救うためアフリカへ向かった若き昆虫学者の奮闘記。

世界を救うパンの缶詰 菅聖子ノ文 やましたこうへいノ絵 ほるぷ出版
災害備蓄用のパンの缶詰。賞味期限が過ぎたら処分するのではなく世界の飢餓地域へ。やさしさを届けるしくみをつくりだしたパン屋さんの取り組み。

カレーライスを一から作るー関野吉晴ゼミー(ポプラ社ノンフィクション 29 生きかた)
前田亜紀ノ著 ポプラ社
カレーライスを一から作るにより、普段あたりまえにまわりにある「食べ物」がどんなふうになられているのか、その大変さを実感できる実話。

食品ロスの大研究ーなぜ多い？どうすれば減らせる？ー(楽しい調べ学習シリーズ)
井出留美ノ監修 PHP研究所
日本では、まだ食べられるのに捨てられている食べ物が1年間に643万トンもあります。一方で、世界には飢えている人もいます。「食品ロス」から食料問題を考えます。

食べものの市場・食料問題大事典ーくわしくわかる!ー3 日本の食料問題 教育画劇
「穀物が足りない！食べものがなくなる？」「食料を捨てる国と食料が足りない国。日本は？」など日本の食料問題をテーマごとに解説。

紅赤ものがたりーサツマイモの女王ー(子ども世界25冊の本)

青木雅子ノ著 黒田祥子ノえ けやき書房
おいしいサツマイモ紅赤をひろめてくれた山田いちさん。北浦和図書館のSDGsの目標としてあげられている「紅赤、サツマイモをもっと身近に」に関連したお話です。

さいたま市立北浦和図書館 (さいたま市浦和区北浦和1-4-2)

電話 048-832-2321 FAX 048-832-2324

さいたま市図書館ホームページ

<https://www.lib.city.saitama.jp/>

